

夏休み特別企画を実施しました

愛知・名古屋 戦争に関する資料館では、戦争体験を次世代に伝え、平和の大切さを学んでいただくため、夏休み特別企画を行っています。

今年は、8月1日から8月20日にかけて、感染対策を取った上で、小中高生を対象に「戦争体験談を聞く会」(全8回)、一般の方向けに「原爆被災体験を聞く会」(1回)と「専門家による特別講座」(全3回)を実施し、たくさんの方々にご参加いただき、心より御礼申し上げます。

資料館では、今後も、戦争について学んでいただける企画を用意してまいりますので、展示見学と合わせて、ぜひお越しください。

戦争体験談を聞く会

「戦争体験談を聞く会」では、戦争体験者やその体験談を引き継ぐ語り手から直接体験談を聞き、その後、資料館で戦争に関する実物資料を見ることで、参加者に戦争について考えていただきました。



集団疎開に行った時の生活の厳しさが想像以上で、小学生ぐらいの年で私なら耐えられないと思います。

平和への願いが一番私の心に響きました。

貴重なお話を聞くことが出来てありがたいです。こうしたお話をもっとたくさんの方が聞くことができれば、平和教育にとっても良いと思います。

息子が戦争当時の事に興味を持ち、知りたがっていたので貴重な体験談を聞かせていただけるとのことで参加させていただきました。書籍や映画などは数多くありますが、体験した方のお話を聞くことができる機会は中々ないのでとても良かったです。

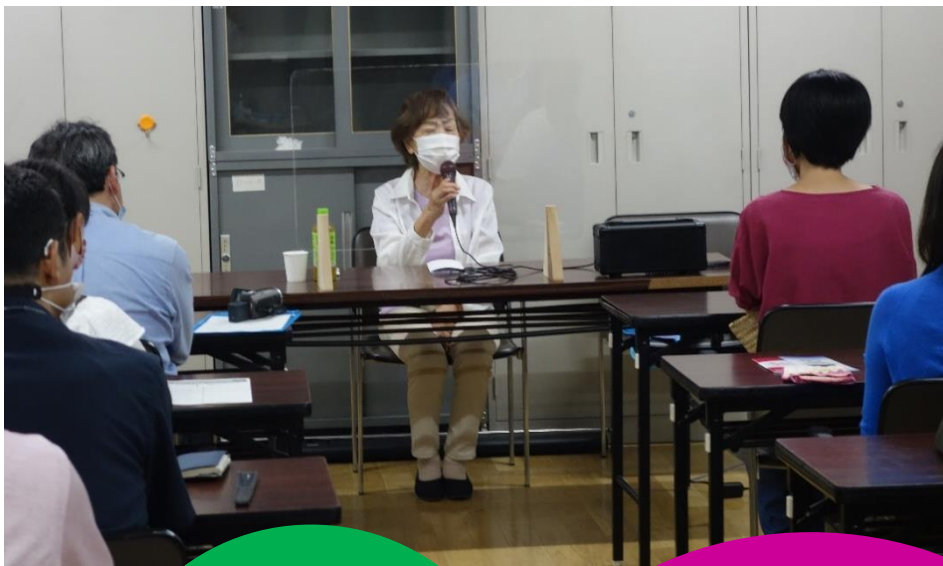




戦争についての残酷さ、苦しさを学ぶことが出来ました。やっぱり戦争ってどんなものか、わからないことが多かったけど、お話を聞いて戦争の大変さがわかりました。戦争はなくなって欲しいと思います。

原爆被災体験を聞く会

「原爆被災体験を聞く会」では、8月6日の広島原爆の日に合わせて、被災者の方に体験談を語っていただきました。



貴重な体験を聞いて良かったです。
ありがとうございました。

原爆の記憶を語られる声にすごく感情がこもっていて、強烈に驚いた体験だったのだと実感しました。こうしたお話を聞ける機会があることが年々貴重になっているので、ぜひ色々な人に聞いてほしいと思います。



専門家による特別講座

「専門家による特別講座」では、愛知・名古屋 戦争に関する資料館の運営・展示に日ごろから御助言いただいている3人の専門家の先生方に、「戦争とツアー～観光旅行から徒歩錬成へ～」、「「敵国語」の時代～戦争と英語・英語教育～」、「戦争遺跡からみた演習場の歴史」のテーマで、この地域の戦争について講演していただきました。

日中戦争前後の旅行の変化がすごくわかりやすく面白かった。

戦争で行動が制限されても、何とか理由をつけて旅行に行く日本人は面白いと思った。


とても興味深いお話でした。

戦争中でも英語教育が行われていたことを知り、驚きました。

戦争について色々なテーマで学べるのはとても良いと思う。

知らなかったことを新しく知ることが出来て良かったです。

とても興味深いお話ありがとうございました。戦争遺跡の中でも「演習場」は分かりにくいものですが、発掘遺稿などから明らかになることがよくわかりました。

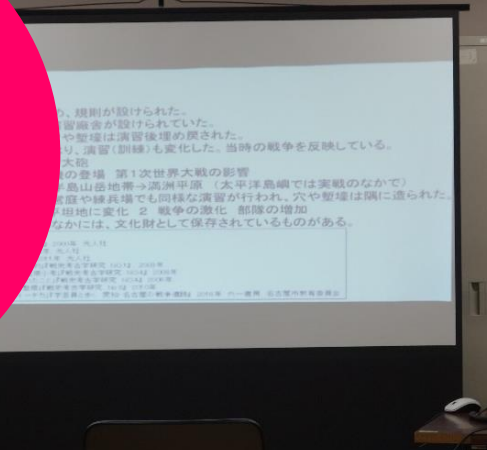


戦争に関する資料館
「戦争とツアー」特別講座 2022年8月5日
戦争とツアー
～観光旅行から徒歩錬成へ～
(名古屋学院大学現代社会学部)
目次
一、戦争以前の観光旅行
二、日中戦争後の観光旅行
三、旅行の制限と徒歩錬成



ドイツ語
学人員区分表

	ロシア語	フランス語	英語	
名古屋	250	80		
大阪	120		125	
広島	155	90		
熊本	125	280	85	
計	170		175	
計	450	750	255	300



演習場が設けられた。
演習場が設けられていた。
や聖壇は演習後埋め戻された。
り、演習(訓練)も変化した。当時の戦争を反映している。
大砲
の登場 第1次世界大戦の影響
島山岳地帯→高洲平原 (太平洋島嶼では実戦のなかで)
演習や練兵場でも同様な演習が行われ、穴や聖壇は埋め戻された。
土地に変化 戦争の激化 部隊の増加
なかには、文化財として保存されているものがある。